

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成28年 9月23日更新

事務事業名	市議会議員選挙事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連		
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	選挙管理委員会	課長名	財津公正
	施策	14	市民参画によるまちづくりの推進			所属課	選挙管理委員会	担当者名	右田裕治、歌野雅文
	施策の柱	42	地域づくり(まちづくり)活動機会の確保			所属班	選挙管理委員会	(内線)	1 2 2 3
予算科目	会計一般	款 2	項 4	目 4	事業連番 10340	根拠法令	公職選挙法	合志市公職選挙法令執行規定	成果優先度評価結果 ;
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 27年度で終了 <input type="checkbox"/> 27年度から開始				事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度			
コスト削減優先度評価結果 ;									

★事務事業の概要(PLAN)

【事業の内容】	平成27年4月30日で任期満了となる合志市議会議員一般選挙の管理執行を行う。投票は、「地方公共団体の議会の議員及び長の選挙期日等の臨時特例に関する法律」の施行により、4月19日(日)告示、4月26日(日)投票日で実施される。平成26年9月に定数削減の条例が可決され、平成27年度の選挙から定数が21名から2名減って、19名となる。告示日に立候補の届出を受け付け、告示日の翌日より期日前投票所を6日間開設する。その他の投票制度に、滞在市町村での不在者投票、一定の障害を持つ方々のための郵便等による不在者投票、指定施設による不在者投票などを交付する。期日前投票所は合志庁舎、西合志庁舎の2箇所、午前8時30分から午後8時まで実施する。当日投票所は市内20箇所(第15投票区と第16投票区を集約し、1つの投票区とする)。投票時間は午前7時から午後7時まで実施する(1時間の繰り上げ)。ただし、第2投票区(日向集会所)と第5投票区(恵楓園恵楓会館)は、2時間繰り上げて午後6時まで実施する。開票は当日の午後8時00分から合志市総合体育館(ヴィーブルメインアリーナ)で即日開票を行う。
【業務の流れ】	①選挙管理委員会の開催、②投票日の決定、③投票所、開票所の指定、④ポスター掲示場設置、⑤資材、消耗品等の準備、⑥選挙人名簿の調製、⑦投票入場券作成と発送、⑧投票管理者・同職務代理人・投票立会人の選任、⑨投票・開票事務従事者の選任、⑩期日前投票事務従事者説明会、⑪啓発活動、⑫立候補の受付、⑬期日前投票所の設置、⑭不在者投票、郵便による不在者投票の受付開始、⑮選挙公報の作成と配達、⑯選挙違反に対する注意・指導、⑰当日投票事務、開票事務従事者説明会の開催、⑱投票所、開票所の設置、⑲交付機・計数機等の点検、⑳当日投票事務、(21)選挙会(開票) (22)県選管へ結果報告、(23)当選証書の付与、(24)選挙運動収支報告書の公表
【主な予算費目】	・報酬、職員手当等、賃金、旅費、需用費、役務費、委託料、使用料及び賃借料、負担金補助及び交付金
【意見や要望】	前回、平成23年4月の選挙は無投票であったが、前々回の選挙では、候補者の選挙運動(選挙カー)がうるさいとの苦情や事前運動や戸別訪問など、選挙運動に関する苦情が寄せられた。期日前投票所を2箇所(合志庁舎、西合志庁舎)で実施しているが、泉ヶ丘支所で実施してほしいとの意見がある。公選法に規定される投票所の投票時間は午前7時から午後8時までだが、投票立会人や事務従事者から、午後7時以降の投票者は少なくなることや、長時間勤務による疲労等により、投票時間の短縮を望む意見が多かったため、平成24年3月実施の知事選挙より、全部の投票所の閉鎖時刻を1時間繰り上げ、午後7時までとした。また、平成26年12月の衆議院議員総選挙より、投票にこられる選挙人が200人を切り、午後6時以降はほとんど投票に來れないので、2箇所(第2投票区日向集会所、第5投票区恵楓園恵楓会館)は午後6時まで繰り上げることとした。また、投票所の利便性を高めるため、平成27年度選挙より、第15投票区と第16投票区を集約し、投票所を御代志市民センター講堂に移す。

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動)(DO)	28年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
投票に向けた準備を行う。選挙管理委員会の開催、投票日や投票制度の啓発、投票所入場券の準備、投票用紙の印刷、投票管理者・投票立会人、事務従事者の選任、事務用品・投票機材の点検、選挙運動違反者に対する注意や警告を行う。 4月19日(日)告示日に立候補の届出を受ける。期日前投票所を2箇所開設する。投票所は20箇所開設し、開票は即日開票を行う。当選者の決定を行い、当選証書の付与を行う。選挙運動に係る収支報告を提出してもらい、開票を行う。選挙供託金の受領と返還事務を行う。	次年度はなし(次は平成31年4月に執行される予定)
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア: 候補者数	人
→ イ: 当選人数	人
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
市議会議員選挙	(単位)
	→ ア: 当日有権者数
	→ イ: 投票者数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
選挙が適正に執行される。	(単位)
	→ ア: 選挙執行において問題となった件数
	→ イ: 件
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠	
法的に適正に処理し執行するため。	
総トータルコスト	
全体計画	
~ 年度	
0	

各指標・総事業費の推移	単位	25年度	26年度	27年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込	
① 活動指標	ア 人	0	0	23	27	0	0	0	25	
	イ 人	0	0	19	19	0	0	0	19	
② 対象指標	ア 人	0	0	45,000	44,630	0	0	0	47,000	
	イ 人	0	0	31,050	25,742	0	0	0	28,200	
③ 成果指標	ア 件	0	0	0	0	0	0	0	0	
	イ 件									
投票入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円		1,159	37,842	29,283		1,578	37,842
	(A) 事業費計	千円	0	1,159	37,842	29,283	0	0	1,578	37,842
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	8,252
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	7,158
		人件費	千円	0	5,497	11,952	6,564	0	0	5,497
人件費	正規職員従事人数	人	0	3	130	38	0	0	3	
	延べ業務時間	時間	0	1,380	3,000	1,768	0	0	1,380	
トータルコスト(A)+(B)	(B)人件費計	千円	0	5,497	11,952	6,564	0	0	5,497	
	千円	0	6,656	49,794	35,847	0	0	7,075	49,794	

事務事業名	市議会議員選挙事業	所属部	選挙管理委員会	所属課	選挙管理委員会
-------	-----------	-----	---------	-----	---------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は27年度の事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 8年ぶりに選挙となったが、選挙の管理執行において問題となった事案もなく、選挙は適正に執行された。
	②28年度目標達成見込み	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 次年度なし。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 次の4年後の選挙に向け、投票受付のシステム化や投票準備、開票準備や開票作業において研究を重ね、時間の短縮、人件費の削減に取り組む。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似するものはない
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事務手順において研究を重ね、効率化を図ることにより、従事者数の削減、開票時間の短縮が望める。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 臨時職員の一部採用を行うなど、人件費の削減に取り組みたい。また、投票受付のシステム化により、一部の投票所の事務従事者を減らす予定である。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 公職選挙法に基づき、すべての有権者に対し執行する選挙であり、受益機会は適正で公平である。また、費用負担の考え方はなじまない。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 公職選挙法に基づき、市選挙管理委員会を実施する選挙の執行管理事務であるため、他に移行できない。

3 評価結果の総括 (CHECK)

選挙は4月19日(日)に告示し、立候補の届出を受付たが、定数19名に対し27名が立候補の届出を行い、県内でも激戦と言われる選挙となった。選挙は管理執行上で問題となる事案もなく適正に終わることができたが、投票率が前回執行(8年前)より10%以上低下し、57.68%となった。地方選挙の投票率低下は全国的な傾向ではあるが、投票率向上に向けた啓発の有り方を検討する必要がある。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						